

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	14,700,000株	25年3月期	14,700,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	924株	25年3月期	924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	14,699,076株	25年3月期1Q	14,699,076株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. その他	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の下、積極的なデフレ脱却を目指し日本銀行の打ち出した「異次元金融緩和」や公共事業を柱とする「機動的な財政政策」に「民間投資を喚起する成長戦略」のいわゆるアベノミクスの3本の矢による日本経済回復の道標が具体化されました。これにより円高株安が是正され株式市場の好転によりGDPの6割を占める個人消費が増加し、また円安の影響により純輸出額がプラスに転じたことからGDPのプラス成長が実現しました。海外においては長期化する欧州債務危機問題や、新興国経済の減速懸念があるものの、消費者マインドの昂進により個人消費の持ち直しが見られるなど景気回復への期待感が高まっております。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先でありますサービスステーション（略称：S S）業界においては、円安に起因した原油価格の高騰に加え梅雨期の少雨と猛暑の影響で季節商品の売上高に影響がでました。

これらの外的要因への対策として全国的な巡回営業ルートの見直しとマンスリー営業の導入により効率営業を確立することで、企画提案活動に厚みを持たせます。

部品事業においては着実にその事業領域を全国に拡大しており、当第1四半期末現在、業務提携先は14社にのぼり、佳境の第2ステージに入ります。具体的には東京・埼玉・静岡において車検・部品に特化したモデルS Sのテスト展開をスタートいたします。これは当社グループの粹然を結集した独創的な店舗を創造することで、将来のトータルカーライフサポートを見据えたS Sのあるべき未来像の座標軸になるものと考えております。

また当期に特筆すべきは、北海道に本社を構える株式会社ミツワ商会との業務提携が締結のはこびとなり、当社北海道支店の売上拡大を実現するためのデリバリー力及び現地での商品調達力の協力が得られ、株式会社ミツワ商会においては当社の購買力と商品開発力及び企画提案力に得るものがあり、相互の収益確保と企業価値向上に寄与するものであると確信しております。今後も各地域の優良企業との業務提携を重ねることで積極的な企業間取引を展開してまいります。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高 2,275百万円（前年同期比 2.1%減）となりました。

収益面におきましては、売上総利益は 628百万円。販売費及び一般管理費は、人件費及びその他の経費等の削減により営業利益は 51百万円（前年同期比 147.9%増）、経常利益 65百万円（前年同期比 77.5%増）、法人税等 8百万円を計上し、四半期純利益は 56百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業につきましては、上記要因から売上高は 2,232百万円（前年同期比 2.0%減）セグメント利益は 52百万円（前年同期比 124.5%増）となりました。「その他」につきましては、売上高は 60百万円（前年同期比 15.8%減）セグメント損失は 4百万円（前年同期のセグメント損失 3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は 3,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ 30百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が 31百万円、商品及び製品が 2百万円減少したことによるものであります。固定資産は 1,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が 9百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は 4,224百万円となり、前連結会計年度末に比べ 26百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は 1,324百万円となり、ほぼ前連結会計年度末並みとなりました。これは主に支払手形及び買掛金が 25百万円増加したことと、1年内返済予定長期借入金が 26百万円減少したことによるものであります。固定負債は 601百万円となり、前連結会計年度末に比べ 64百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が 46百万円減少したことと、社債が 24百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は 1,925百万円となり、前連結会計年度末に比べ 64百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,298百万円となり、前連結会計年度末に比べ 38百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益 56百万円及び剰余金の配当 14百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は 54.4%（前連結会計年度末は 53.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、概ね計画通りに推移しているため、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては平成25年5月9日付「平成25年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたならば、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(減価償却費)

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,560	1,358,907
受取手形及び売掛金	1,016,649	1,026,299
商品及び製品	593,815	591,025
繰延税金資産	20,744	18,709
その他	79,693	76,421
貸倒引当金	△937	△995
流動資産合計	3,100,526	3,070,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	771,103	771,103
減価償却累計額	△672,501	△674,783
建物及び構築物（純額）	98,602	96,320
機械装置及び運搬具	30,298	30,298
減価償却累計額	△26,325	△26,658
機械装置及び運搬具（純額）	3,973	3,639
土地	438,325	438,325
リース資産	2,875	2,875
減価償却累計額	△2,156	△2,300
リース資産（純額）	718	574
その他	170,496	169,939
減価償却累計額	△152,027	△153,517
その他（純額）	18,469	16,422
有形固定資産合計	560,088	555,282
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	47,389	44,170
差入保証金	382,346	379,630
繰延税金資産	1,391	2,688
その他	99,955	112,463
貸倒引当金	△17,309	△15,331
投資その他の資産合計	513,773	523,620
固定資産合計	1,149,873	1,153,828
資産合計	4,250,400	4,224,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	852,309	877,796
1年内償還予定の社債	82,500	82,500
1年内返済予定の長期借入金	225,860	199,360
リース債務	636	622
未払法人税等	58,441	11,815
賞与引当金	18,006	9,049
その他	87,088	143,769
流動負債合計	1,324,842	1,324,913
固定負債		
社債	118,000	93,250
長期借入金	215,585	169,470
リース債務	142	—
退職給付引当金	295,104	299,681
役員退職慰労引当金	21,035	23,733
その他	16,019	14,949
固定負債合計	665,886	601,085
負債合計	1,990,729	1,925,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	265,641	307,386
自己株式	△208	△208
株主資本合計	2,264,737	2,306,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,066	△8,285
その他の包括利益累計額合計	△5,066	△8,285
純資産合計	2,259,670	2,298,197
負債純資産合計	4,250,400	4,224,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,324,954	2,275,026
売上原価	1,675,835	1,646,521
売上総利益	649,118	628,505
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	299,196	271,899
賞与引当金繰入額	9,276	9,049
役員退職慰労引当金繰入額	2,698	2,698
その他	317,179	293,381
販売費及び一般管理費合計	628,351	577,028
営業利益	20,767	51,476
営業外収益		
受取利息	580	616
仕入割引	15,034	12,041
その他	3,628	4,184
営業外収益合計	19,243	16,842
営業外費用		
支払利息	2,126	2,011
手形売却損	871	579
その他	206	392
営業外費用合計	3,203	2,983
経常利益	36,807	65,335
特別損失		
投資有価証券評価損	878	—
その他	461	—
特別損失合計	1,339	—
税金等調整前四半期純利益	35,467	65,335
法人税、住民税及び事業税	11,263	8,153
法人税等調整額	—	738
法人税等合計	11,263	8,891
少数株主損益調整前四半期純利益	24,204	56,444
四半期純利益	24,204	56,444

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	24,204	56,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,341	△3,218
その他の包括利益合計	△7,341	△3,218
四半期包括利益	16,863	53,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,863	53,225
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、カーケア関連商品販売を主たる事業としており、「自動車補修部品」「自動車ケミカル」「サービステーション備品」等の「カーケア関連商品販売」と「自動車販売及び整備」「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等の「その他」を報告セグメントとしております。なお、前連結会計年度のセグメント区分から変更はありません。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,278,712	46,241	2,324,954	-	2,324,954
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	25,550	25,556	(25,556)	-
計	2,278,717	71,792	2,350,510	(25,556)	2,324,954
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	23,605	△ 3,936	19,669	1,097	20,767
セグメント資産	3,934,527	105,193	4,039,720	(41,886)	3,997,834
その他の項目 減価償却費	11,211	238	11,449	-	11,449

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,232,141	42,885	2,275,026	-	2,275,026
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	141	17,548	17,689	(17,689)	-
計	2,232,282	60,433	2,292,716	(17,689)	2,275,026
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	52,998	△ 4,366	48,631	2,845	51,476
セグメント資産	4,167,535	84,740	4,252,276	(28,079)	4,224,196
その他の項目 減価償却費	8,891	201	9,092	-	9,092

5. その他

当第1四半期連結累計期間において、平成23年3月24日開示の「子会社の解散および清算に関するお知らせ」のとおり、当社連結子会社である山梨ムラキ自動車株式会社が、平成25年6月27日開催の株主総会において清算結了を決議しております。

当該子会社の異動に伴う当社連結業績に与える影響は軽微であります。